

【発行】平成29年4月19日 宮城県地域包括ケア推進協議会
【事務局】宮城県保健福祉部長寿社会政策課

INDEX

- ★「介護の魅力フェスタ」、「みやぎケアフェスタ」を開催しました
- ★「第1回 宮城発 これからの福祉を考える全国セミナー」を開催
- ★みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度がスタートしました

▶ 「介護の魅力フェスタ」、「みやぎケアフェスタ」を開催しました

11月11日の「介護の日」イベントとして第1弾「介護の魅力フェスタ」、第2弾「みやぎケアフェスタ」を開催しました。

【介護の魅力フェスタ】

平成28年11月5日（土）にアエル・アトリウムにおいて宮城県介護人材確保協議会（介護人材確保専門委員会）の主催により開催しました。

PRツール「ケア・ヒーローズ」に出演した魅力的な介護職員5名によるトークショーや介護福祉士として介護施設に勤務する傍ら、音楽活動を行っている翼（tasku）さんのライブを催し、介護の魅力を発信しました。



「ケア・ヒーローズ」によるトークショー

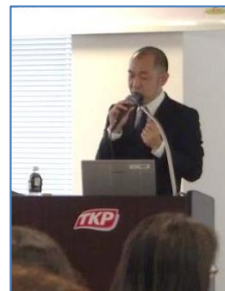
翼（tasku）さんのライブ
むすび丸も一緒！！



【みやぎケアフェスタ】

平成28年11月27日（日）にTKPガーデンシティPREMIUM仙台東口において開催しました。

医療法人社団爽秋会岡部医院院長の佐藤隆裕先生と民俗研究家の結城登美雄先生の御講演などにより、地域の中での住民同士の支え合い、人と地域がふれ合う環境づくりの重要性について、普及啓発を行いました。



岡部医院院長
佐藤隆裕先生

翼合唱団も
ノリノリでした！！



また、認知症と家族の会宮城県支部による「翼合唱団」の合唱や認知症サポーター養成講座の実施で、認知症への理解を深めていただきました。

他にも、認知症カフェ、体力測定や福祉機器の展示なども行い、盛りだくさんのイベントでした。

今回のイベントでは、多くの構成団体の方々に御協力、御参加をいただきました。今後も全県の地域包括ケア体制の推進に向けた普及啓発イベントを継続していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

▶第1回 宮城発 これからの福祉を考える全国セミナーを開催

少子高齢化、人口減少のなか、地域住民が「新しい総合事業」と「生活支援体制整備事業」を活用し住み良いまちを作るため、また多様な主体が参画する「地域づくり」や「支え合い体制づくり」を推進するため、「第1回 宮城発 これからの福祉を考える全国セミナー」を、平成29年2月2日に仙台市福祉プラザにおいて開催し、北は青森県から南は沖縄県まで、300名を超える方々に参加していただきました。

【第1部 被災者支援従事者実践からの気づき】

被災者支援における、現場実践と人材育成について、石巻市、南三陸町で住民から社協職員となった方、浪江町から二本松市の仮設住宅に入居し自治会長となった方から現在に至るまでの取り組みについてお話をいただき、コメンテーター役である鈴木サポートセンター支援事務所所長から「住民にはできることがたくさんある。」「同じ地域住民という当事者性を持っている支援従事者は大事。」との発言がありました。コーディネーター役である高橋東北福祉大学教授は「専門職や支援者は、地域住民の力を信じ、上手に寄り添うことで、よい地域がつけられる。」とまとめました。

【第2部 生活支援Cを支援する市町村等の取り組み】

第2部では県内外（武蔵野市、仙台市、北上市、多賀城市）の包括支援センター及び自治体における生活支援コーディネーター並びに協議体の取り組み等について発表をいただきました。

発表を受けて、コメンテーター役である全国コミュニティライフサポートセンターの池田理事長から「生活支援コーディネーターの業務に失敗はない。うまくいかなければ、角度を変えて取り組んでいけばよい。」との発言があり、コーディネーター役の志水仙台白百合女子大学准教授からは「生活支援コーディネーターの配置だけでは物事は動かない。行政がしっかり方針を打ち出してこそ、コーディネーターは行動できる」との課題提起もありました。

【第3部 地域支援事業を支援する県等の取り組み】

はじめに、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)社会政策部長上席主任研究員の岩名氏より基調講演が行われ、行政における地域マネジメントの考え方、支援の方法について説明をいただき、その中で、生活支援コーディネーターはこれまでの行政によるアプローチ（制度による地域づくり）とは異なるアプローチ（自助・共助からの地域づくり）を行わなければならないとの助言がありました。

その後、東北厚生局、県、仙台市等のシンポジストから、地域支援事業への支援の取り組み、事例について報告がなされました。



(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 社会政策部長 上席主任研究員 岩名礼介氏)

【クロージング&まとめ】

セミナーの最後に、宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議運営委員長の大坂氏より、「これからの社会では、つながりを切らないことが大事」「セミナーの内容を周囲の人と共有し、皆さんもつながりの大切さを考えて、日々の暮らしを意識化していただきたい。」とのまとめをいただきました。

《平成28年度 第2回宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議》

◆セミナーと同日で、本年度第2回目の連絡会議が開催され、今年度の活動経過の報告のほか、来年度の事業計画について話し合いが行われました。また、今回より新たに「介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会」が会員となり、同会長より御挨拶をいただきました。



▶みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度がスタートしました。

宮城県介護人材確保協議会（介護人材確保専門委員会）では、介護事業所の人材育成や働きやすさの取組を公表（見える化）し、就職希望者の不安を軽減するとともに、事業所のレベルアップを促進するための、「みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度」を本年1月にスタートしました。

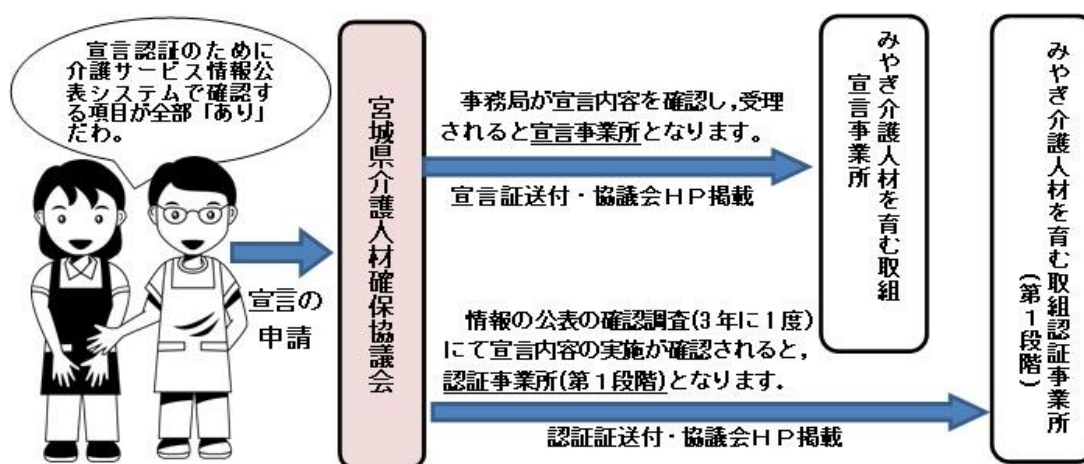
3月10日までの募集期間に宣言申請を受け付けた216事業所について順次確認作業を行い、要件を満たす介護事業所に対し、宣言証および認証証（第1段階）の送付、及びホームページへの事業所情報、宣言・認証内容の掲載を行っていきます。

なお、平成29年度の宣言申請受付は10月開始を予定しています。

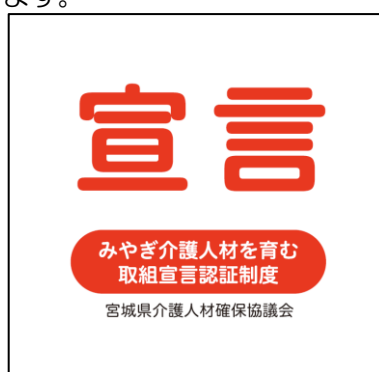
○対象：県内の介護職員が在籍する介護サービス事業所（2,217箇所）。

○厚労省が全都道府県を対象に運用している「介護サービス情報公表システム」に情報を掲載している県内の事業所が公表した情報の一部（人材育成・処遇改善に関する13項目）を全て達成している事業所が「宣言」できます。

○また、3年に1回の訪問調査にて宣言内容の実施が確認できた事業所を「認証」します。



○宣言が認められた事業所には宣言証及び宣言をアピールできる「宣言マーク」を、宣言事業所のうち3年に1度の事業所訪問調査で宣言内容の実施が確認できた事業所に「認証マーク（第1段階）」を順次送付します。



<宣言マーク>



<第1段階認証マーク>

○問い合わせ先 NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ
(みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度事務局) ☎022(343)8565

○ホームページ URL: <https://www.miyagi-kaigojinzai.jp/>

問い合わせ先

ご意見ご感想をお寄せください

事務局：宮城県保健福祉部長寿社会政策課地域包括ケア推進班

電話：022-211-2552 FAX：022-211-2596 E-mail：choujuc3@pref.miyagi.lg.jp